

3 「資産及び周辺環境の保護」に関する観察指標

資産及び周辺環境に対する負の影響	観察指標	指標の測定内容及び手法			周期	観察記録主体	令和元年度の結果	平成30年度の結果	コメント
		概要	調査範囲	報告項目					
開発・都市基盤施設の整備による影響	1都市基盤施設の整備による影響	a)電線の地中化延長	電線の地中化の延長状況について把握する。	富士吉田市、身延町、西桂町、忍野村、山中湖村、鳴沢村、富士河口湖町、静岡市(三保松原周辺)、沼津市、三島市、富士宮市、富士市、御殿場市、裾野市、清水町、長泉町、小山町内で実施された事業	年度末の総延長距離(km) ※累計	山梨県 静岡県	山 0.56km 静 0.8km →累計延長 64.46km	63.1km	計画的に事業を進めている。
		2酸性雨	b)大気汚染に係る環境基準達成率(二酸化硫黄、二酸化窒素)	大気の常時監視を行い、大気の二酸化硫黄、二酸化窒素含有量を測定する。	一般環境大気測定局:富士吉田合同庁舎、富士宮市立山宮小学校、富士市立大淵中学校、裾野市民文化センター、御殿場市役所、静岡市立三保第一小学校		二酸化硫黄の日平均値の2%除外値の最大値、二酸化窒素の日平均値の年間98%値の最大値	山梨県 静岡県	二酸化硫黄 山 0.002ppm 静 0.004ppm 二酸化窒素 山 0.013ppm 静 0.022ppm
自然環境の変化	3気候温暖化	c)植生調査	1m×10mの永久方形枠に1m×1mのサブコドラート10個を設け、出現種、植被率等を記録する。	モニタリングサイト 1000 高山帯調査 富士山サイトで設定されたプロット(山頂付近A)	富士山山頂周辺の平均植被率	環境省	—		—
		d)森林限界の変動	森林限界線に地点を定め、その位置の時間的変化を観測する。また、航空写真を用いて時間的変化を観測する。	富士スバルライン五合目青草洞門付近	定点地点からの空中写真による森林限界線の変化		試験研究機関	—	—
		e)気温の経年変化	大気の常時監視を行い、気温の変化を観測する。	富士山頂	年平均気温(日平均) ※単年	毎年	気象庁	-5.7℃	-5.4℃
4野生動物及び病虫による影響	f)森林の病虫獣害による被害面積	森林における病虫獣害による被害面積の把握を行う。	国有林並びに構成資産及び緩衝地帯に所在する市町村の森林	病虫獣害による被害面積 ※単年度	毎年	林野庁 山梨県 静岡県	病虫害 山 51.02ha 静 27.5ha 獣害 山 2ha 静 13.56ha	病虫害 59.059ha 獣害 10.99ha	獣害被害面積が増加しているが、侵入防止柵設置や忌避剤散布等の対策を行っている。 病虫害被害の増加はカシノナガキクイによるもので、粘着剤対策を実施している。

資産及び周辺環境に対する負の影響		観察指標	指標の測定内容及び手法			周期	観察記録主体	令和元年度の結果	平成30年度の結果	コメント
			概要	調査範囲	報告項目					
自然災害	5噴火	g)火山活動の観測	地震計、傾斜計、GNSS等による火山活動の観測を行う。	富士山の火山活動観測点が設置されている範囲	噴火警報、火口周辺警報の発表件数 ※単年度	随時	気象庁 山梨県 静岡県 試験研究機関	0件	0件	大きな変動はない。
	6土砂災害	h)土砂災害・崩壊地形の調査	航空測量等により大沢崩れ周辺ほかの地形測量を行い、土砂災害・崩壊地形の調査を行う。	大沢崩れ	土砂流出量(千m ³) ※単年度	随時	国土交通省	88千m ³	130千m ³	過去の平均流出量(141千m ³)と比較すると、約2/3であり、ほぼ平年的な土砂の流出となった。
	7地震	i)前兆現象の観測	地震計、体積歪計、傾斜計等による前兆現象の観測を行う。	南海トラフ地震の地域(平成29年10月31日までは東海地域)の地震・地殻変動の観測網の範囲	南海トラフ地震に関する情報(異常な現象観測)の発表件数 ※単年度	随時	気象庁 山梨県 静岡県 試験研究機関	0件	0件	大きな変動はない。防災訓練を行い、情報伝達などの確認を行った。
	8自然災害による建造物等や景観への影響	j)文化財き損届件数	文化財のき損届の件数による被害の把握を行う。	構成資産内に所在する指定文化財	受理件数 ※単年度	毎年	山梨県 静岡県 市町村	山0件 静3件	7件	き損届けがあったが、いずれも原状復旧等の事後対応済みもしくは資産への直接的影響なし 富士山城(山頂) ・富士山衛生センター屋根・壁の破損 ・鳥居の傾き 富士山城(須走登山道) ・下山道流出
		k)森林の風水害被害面積	風水害による森林の被害面積の把握を行う。	国有林並びに構成資産及び緩衝地帯に所在する市町村の森林	風害・水害による被害面積 ※単年度	毎年	林野庁 山梨県 静岡県	山0ha 静2.52ha	51.53ha	台風による水害。治山事業等により復旧済みもしくは復旧予定。
	9火災による景観への影響	l)森林の火災被害面積	森林における火災による被害面積の把握を行う。	国有林並びに構成資産及び緩衝地帯に所在する市町村の森林	火災による被害面積 ※単年度	毎年	林野庁 山梨県 静岡県	山0a 静0ha	0.06ha	該当無し
資産及び周辺環境に対する負の影響		観察指標	指標の測定内容及び手法			周期	観察記録主体	令和元年度の結果	平成30年度の結果	コメント
			概要	調査範囲	報告項目					
来訪者及び観光による影響	10来訪者増加による建造物等や景観への影響	m)主要地点への来訪者数	主要地点への来訪者数を把握する。	西湖・精進湖・本栖湖周辺、山中湖・忍野八海周辺、富士吉田・河口湖・三ツ峠周辺、富士山本宮浅間大社周辺、白糸ノ滝、三保松原	年間の来訪者数 ※単年度または単年	毎年	山梨県 静岡県 市町	表1		減少している地点が多いが、新型コロナウイルスの影響及び夏季の天候不良が主な要因と考えられる。

		n)五合目への来訪者数	各登山道の五合目への来訪者数を把握する。	吉田口登山道、富士宮口登山道、御殿場口登山道、須走口登山道	7・8月の来訪者数	毎年	山梨県市町	表2	全登山道で減少しているが、夏季の天候不良や開山前の山頂付近崩落等の影響が主な原因と考えられる。
来訪者及び観光による影響	10来訪者増加による建造物等や景観への影響	o)登山者数(八合目以上)	各登山道の八合目以上の来訪者数を把握する。	吉田口登山道、富士宮口登山道、御殿場口登山道、須走口登山道	7・8月の来訪者数	毎年	環境省	表3	全登山道で減少しているが、夏季の天候不良や開山前の山頂付近崩落等の影響が主な原因と考えられる。
		p)自動車数	富士スバルライン、富士山スカイライン、ふじあざみラインにおける自動車数を把握する。	富士スバルライン、富士山スカイライン、ふじあざみライン	マイカー規制期間、シャトルバス乗換駐車場入込台数	毎年	山梨県静岡県	表4	五合目への来訪者数と同様に、過年度と比較すると減少した。

表1 主要地点への来訪者数

年	西湖・精進湖・本栖湖周辺 (暦年)	富士山本宮浅間大社周辺	山中湖・忍野八海周辺 (暦年)	富士吉田・河口湖・三ツ峠周辺 (暦年)	白糸ノ滝	三保松原	合計
平成29年度	2,210,107人	1,564,477人	904,365人	6,158,445人	500,478人	729,595人	12,067,467人
平成30年度	2,302,791人	1,874,734人	1,038,036人	7,685,984人	502,315人	620,251人	14,024,111人
平成31年度	2,113,169人	1,725,515人	1,004,485人	7,490,464人	489,297人	677,169人	13,380,063人

※山梨県観光文化政策課、富士宮市観光協会、静岡市観光交流課の統計結果による。

表2 7・8月における各登山口五合目への来訪者数

年	現在の富士宮口登山道	現在の御殿場口登山道	須走口登山道	吉田口登山道(富士スバルライン)	合計
平成29年度	126,503人	65,898人	48,658人	1,051,045人	1,292,104人
平成30年度	98,288人	67,003人	41,659人	1,448,333人	1,655,283人
平成31年度	82,807人	66,406人	40,293人	1,243,041人	1,432,547人

※山梨県観光文化政策課、富士宮市観光協会、御殿場市商工観光課、小山町商工観光課の統計による。

表3 7・8月における各登山口八合目登山者数

年	現在の富士宮口登山道	現在の御殿場口登山道	須走口登山道	吉田口登山道	合計
平成29年度	60,701人	17,060人	20,041人	150,609人	248,411人
平成30年度	(18,828人)	11,408人	23,896人	135,457人	(189,589人)
平成31年度	47,219人	10,745人	17,443人	(129,903人)	(205,310人)

※環境省八合目に設置された赤外線カウンターによる。

※平成30年度の富士宮口は8/14以降のデータ欠損。

※平成31年度の吉田口は7/1～7/9(15:00)までは8合5勺までの開通。

表4 自動車台数

年	富士スバルライン		富士山スカイライン		ふじあざみライン	
	マイカー規制期間	乗換駐車場入込台数	マイカー規制期間	乗換駐車場入込台数	マイカー規制期間	乗換駐車場入込台数
平成 29 年度	63 日	33,841 台	63 日	21,717 台	63 日	6,803 台
平成 30 年度	63 日	34,901 台	63 日	20,413 台	63 日	6,159 台
平成 30 年度	63 日	31,449 台	63 日	19,873 台	63 日	5,198 台

4 「各構成資産及び構成要素の保護」に関する観察指標

資産及び周辺環境に対する負の影響	観察指標	指標の測定内容及び手法			周期	観察記録主体	令和元年度の結果	平成 30 年度の結果	コメント	
		概要	調査範囲	報告項目						
各構成資産	1 建造物における火災	a) 防災設備の点検状況	防災設備の点検を行う。	北口本宮富士浅間神社、河口浅間神社、富士御室浅間神社、旧外川家住宅、小佐野家住宅、富士山本宮浅間大社、山宮浅間神社、村山浅間神社、須山浅間神社、富士浅間神社、人穴浅間神社、御穂神社	防火設備の点検結果による不良件数 ※単年度	毎年	所有者 管理団体	山1件 静2件	3件	自動火災報知設備等の不良箇所があったが、修理予定。
	2 建造物をはじめとする構成資産及び構成要素の劣化	b) 建造物をはじめとする構成資産及び構成要素の保全状況	建造物をはじめとする構成資産及び構成要素の巡視を行う。	構成資産及び構成要素内に所在する指定文化財	巡視結果による不良件数 ※単年度	毎年	山梨県 静岡県	山4件 静0件	4件	4件の不良があったが、復旧済みまたは、一部復旧済み、対処検討中。 北口本宮富士浅間神社 台風による破損や経年劣化による傷み等。 忍野八海 コインの投げ込み。 藻の繁殖。 富士御室浅間神社 経年劣化による拝殿の傷み等。 吉田口登山道 倒木による史跡富士山一合目石碑群の倒壊。
資産及び周辺環境に対する負の影響	観察指標	指標の測定内容及び手法			周期	観察記録主体	令和元年度の結果	平成 30 年度の結果	コメント	
		概要	調査範囲	報告項目						

	3湖沼・湧水の水質	c)水質	湖沼(富士五湖)・湧水(忍野八海)の水質(pH、COD、有害物質等)測定を行う。	富士五湖、忍野八海	富士五湖のうちCOD(75%値)最大値 忍野八海のうちpH最大・最小値、COD最大値	毎年	山梨県 町村	富士五湖 COD最大値 精進湖 3.4 忍野八海 pH最大 出口池 7.6 pH最小 湧池、底抜池、菖蒲池、濁池、銚子池、お釜池 7.4 COD最大値 菖蒲池 2.0	富士五湖 COD最大値 河口湖 3.3 忍野八海 pH最大 底抜池 7.8 pH最小 お釜池 7.3 COD最大値 菖蒲池 3.4	富士五湖については、河口湖、精進湖、本栖湖以外で環境基準値を達成している。忍野八海については基準値を達成している。河口湖、精進湖、本栖湖については、長期的には環境基準前後で横ばいで推移している。引き続き清掃美化活動等対策を行うとともに監視を行っていく。 ※環境基準 COD:3.0以下 (本栖湖は1.0以下) pH:6.5~8.5以内
展望景観	4景観変化	d)定点観測地点からの展望景観の変化	定点観測地点において、視界に入り込む阻害要因について把握する。	中ノ倉峠、三保松原など計36箇所	視点場からの展望景観の変化 (写真は参考資料1参照)	毎年	山梨県 静岡県 市町村	変化なし	変化なし	展望景観からの負の影響は認められない。

5 「顕著な普遍的価値の伝達」に関する観察指標

観察指標	指標の測定内容及び手法			周期	観察記録主体	令和元年度の結果	コメント
	概要	調査範囲	報告項目				
a)富士山に関する研修会等実施状況	富士山に関する様々な研修会・セミナーへの参加者数等を把握する。	県及び資産が所在する市町村内で実施した講座、講演会、学習会、野外観察	開催年月日、行事名称、参加者数など	毎年	山梨県 静岡県 市町村	表5	富士山への理解を深めるため、学校単位での富士山検定や出前講座などを実施し、顕著な普遍的価値の後世への継承を積極的に行っている。
観察指標	指標の測定内容及び手法			周期	観察記録主体	令和元年度の結果	コメント
	概要	調査範囲	報告項目				
b)環境保全活動の実施状況	富士山に関する環境保全活動への参加者数等を把握する。	資産及びその周辺地域で実施した森林整備又は美化清掃活動	開催年月日、行事名称、参加者数など	毎年	山梨県 静岡県 市町村	表6	地域コミュニティによる環境保全活動の促進が行われている。

c)富士山信仰に関わる宗教行事の実施状況	富士山信仰に関わる主な宗教行事の実施回数、参加人数等を把握する。	河口浅間神社、北口本宮富士浅間神社、富士山本宮浅間大社、山宮浅間神社、村山浅間神社、須山浅間神社、富士浅間神社	神事名、参加者数、行事内容など	毎年	山梨県 静岡県 市町村	表7	地域住民と連携を図りながら、行事を継続している。
d)パンフレット・ホームページによる情報提供数	パンフレット類及びホームページによる世界遺産富士山の顕著な普遍的価値及び保全に関する情報提供の状況について把握する。	県、市町村が発行するパンフレット等の出版物及びホームページ	出版物の名称、規格、部数、ホームページの名称、アドレス、閲覧件数	毎年	山梨県 静岡県 市町村	表8、9	富士山世界文化遺産協議会のホームページを随時更新し、顕著な普遍的価値や保全の取組等について情報発信を行った。また、同協議会や富士山周辺の地元市町村等が作成・増刷した印刷物を研修会等で配布し、情報提供を継続している。
e)顕著な普遍的価値に関する理解の状況	富士山の顕著な普遍的価値に関する来訪者の認知・理解度を測定する。	山梨県立富士山世界遺産センター、富士山本宮浅間神社など	アンケート調査による富士山の顕著な普遍的価値を理解した割合(富士山の文化的伝統)	毎年	山梨県 静岡県 市町村	38.5%	来訪者の4割弱が、普遍的価値を理解していた。両県世界遺産センターによる情報発信の強化、研修会等の開催により、理解促進活動を継続していく。

表5 富士山に関する研修会等実施状況(講演会、講座等)

名称	事業主体	参加者数	概要
世界文化遺産出前講座	静岡県	6,257 人	世界文化遺産全般に関する講座(静岡県内 90 箇所で開催)
静岡県富士山世界遺産センター・富士山かぐや姫ミュージアム共同企画展「富士山の女神かぐや姫」	静岡県、富士山かぐや姫ミュージアム	43,208 人	富士山とかぐや姫伝説の結びつきについて紹介(記念講演・館内講座含む)
ふじさん自然教室	富士山科学研究所	9,580 人	来所した学校及び各種団体への研究所教育担当職員による、富士山に関する講義や野外活動を行う事業
出前講座	富士山科学研究所	4,031 人	学校及び、各種団体への、研究所担当職員による富士山に関する出張講座
山 ほか 115 件		7,725 人	
静 ほか 38 件		5,146 人	
合計		75,947 人	

※各県で参加者数上位2件を記載し、その他はまとめて記載。

表6 環境保全活動の実施状況

名称	事業主体	参加者数	概要
三保松原海岸一斉清掃	三保地区まちづくり推進委員会及び名勝保存会	2,000 人	自治会との協働による清掃活動
富士山麓ブナ林創造事業	富士市	550 人	市有林伐採跡地における市民との協働による植栽活動
富士山環境美化クリーン作戦(前期・後期)	公益財団法人富士山をきれいにする会	1,900 人	ボランティア参加による富士山五合目や六合目等の清掃活動
一万人の清掃活動	富士河口湖町	1,273 人	河口湖畔での美化清掃活動

山 ほか 13 件		3,395 人	
静 ほか 14 件		1,997 人	
合計		11,115 人	

※各県で参加者数上位 2 件を記載し、その他はまとめて記載。

表7 富士山信仰に関わる宗教行事の実施状況

構成資産名	所在地	神事名	参加者数	伝承状況	変容内容
河口浅間神社	山梨県富士河口湖町	孫見祭	85 名	旧来通り	
		太々御神楽祭	45 名	旧来通り	
北口本宮富士浅間神社	山梨県富士吉田市	夏越大祓式・開山前夜祭	800 名	旧来通り	
		開山祭	80 名	旧来通り	
		鎮火祭	800 名	旧来通り	
富士山本宮浅間大社	静岡県富士宮市	初申祭	70 名	変容あり	御鉢を渡御する御神幸は、明治初期を最後に行われず、長く両社の参拝のみとなっていたが、平成 18 年大宮鎮座 1200 年を記念して、山宮のお迎え坂から山宮浅間神社の間で復興された
		開山祭	100 名	変容あり	以前は 7 月 7 日の午前中に開山祭を、午後に御田植祭を執り行った。その後、他の登山口の開山に合わせて 7 月 1 日となった。平成 26 年から、静岡県の開山日に合わせて 7 月 10 日になった
		閉山祭	60 名	変容あり	平成 25 年までは 9 月 7 日に行っていたが、平成 26 年から 9 月 11 日となった
		富士山山頂奥宮開山祭	5 名	旧来通り	
		富士山山頂奥宮閉山祭	5 名	旧来通り	
山宮浅間神社	静岡県富士宮市	初申祭	102 名	変容あり	平成 18 年の浅間大社遷座 1200 年記念祭より復活した
		例祭	34 名	旧来通り	
村山浅間神社	静岡県富士宮市	開山祭	210 名	変容あり	入山式と称して行っていた行事が、平成 4 年から観光協会主催の開山祭に取り込まれた
		閉山祭	80 名	変容あり	戦前まで山伏が峯入り修行を終えて、村山に帰ってきた 8 月 16 日に護摩焚きを行っていたが、戦後 8 月 16 日が村山浅間神社の例大祭となったため、昭和 37 年に護摩焚きを復活させて大日堂の祭典として行うようになった
須山浅間神社	静岡県裾野市	開山祭	250 名	旧来通り	
		閉山祭	100 名	旧来通り	
富士浅間神社	静岡県小山町	開山祭	88 名	旧来通り	
		閉山祭	82 名	旧来通り	

表8 パンフレット等による情報提供

名称	作成主体	規格・頁数	発行部数	言語	概要
世界遺産「富士山」	富士山世界文化遺産協議会	A5	24,000 部	日本語	来訪者が構成資産相互の関係性を容易に認知・理解できるように、巡礼路に係る調査・研究成果等に基づく構成資産相互のつながりや富士山の顕著な普遍的価値に関する情報や保全の取組などを記載
			31,000 部	英語、中国語(簡体・繁体)、韓国語、タイ語	
世界遺産「富士山」(児童用)	富士山世界文化遺産協議会	A5	22,000 部	日本語	
富士山世界遺産巡りアクセスガイドマップ	富士山世界文化遺産協議会	B5	24,000 部	日本語	山麓の構成資産の周知・認知向上を図るとともに、周辺施設を含めた山麓地域への周遊の促進を図るため、山麓の構成資産へのアクセス方法や施設情報などを記載
			20,000 部	英語	
三保松原文化創造センター	静岡市	A5	66,000 部	日本語、英語、中国語(簡体・繁体)、韓国語	三保松原の紹介
世界遺産富士山構成資産白糸ノ滝	富士宮市	A4	150,000 部	日本語、英語	白糸ノ滝の紹介
ガイドマップ富士参詣の道を往く	山梨県富士山世界文化遺産保存活用推進協議会	A2	7,000 部	日本語	巡礼路や構成資産の紹介(神野路・鎌倉街道版)

山 ほか0件			0部	
静 ほか3件			30,000部	
合計			374,000部	

※各県で発行部数上位2件を記載し、その他はまとめて記載。

表9 ホームページによる情報提供

名称	作成主体	概要	アドレス	閲覧件数
世界遺産富士山 信仰の対象と芸術の源泉	富士山世界文化遺産協議会	文化遺産としての富士山などを説明	http://www.fujisan-3776.jp/	22,812件
世界遺産富士山とことんガイド	静岡県	富士山が世界遺産に選ばれたわけなどを説明	http://www.fujisan223.com/	166,447件
松原総合情報サイト(三保松原公式サイト)	静岡市	三保松原の紹介、三保松原に関する文献アーカイブ等	https://miho-no-matsubara.jp/	170,001件
富士山世界遺産センター	山梨県(指定管理者)	信仰の対象、芸術の源泉などを説明	http://www.fujisan-whc.jp/about/index/.html	31,694件
富士山ビュースポットガイド	西桂町	町内から見える富士山を画像付きで紹介	https://www.town.nishikatsura.yamanashi.jp/forms/info/info.aspx?info_id=8207	6,838件
山 ほか3件				5,305件
静 ほか10件				52,266件
合計				455,363件

※各県で閲覧件数上位2件を記載し、その他はまとめて記載。

6 総括

(1)「1 基本情報」、「2 保護(指定等)状況」について

特になし(前年度と変化なし)

(2)『3「資産及び周辺環境の保護」に関する観察指標』について

- ・森林における病虫害、獣害は増加しているが、侵入防止柵等の対策が行われ、更なる被害の拡大を防いでいる。
- ・文化財き損事案に対しては、原状復旧等の事後対応がなされており、資産の適切な保全が進められている。
- ・主要地点への来訪者数や登山口五合目への来訪者数等は減少しているが、新型コロナウイルスや天候不良の影響が主な原因と考えられ、大幅な変化は無く、資産への影響や混乱は確認されていない。
- ・その他指標に関する数値に大きな変動はなく、資産及び周辺環境に対する負の影響が確認又は予見されていない。

(3)『4「各構成資産及び構成要素の保護」に関する観察指標』について

- ・構成資産のパトロールや点検を定期的に行い、き損や施設に不備があった場合は、修理等速やかに対応できる体制がとられている。
- ・定点観測地点からの展望景観について、目視や写真等により前年度からの景観の変化を確認した結果、すべての地点において負の影響が確認又は予見されていない。
- ・総じて、各構成資産及び構成要素に対する負の影響が確認又は予見されていない。

(4)『5「顕著な普遍的価値の伝達」に関する観察指標』について

- ・関係機関による情報発信や地域コミュニティーによる研修会・環境保全活動等が積極的に行われており、次年度以降も継続的に実施していく。

7 構成資産及び周辺環境における現状の変更

(1) 構成資産における整備事業(調査は除く)の状況

構成資産名	事業概要	事業主体	開始年度	備考
富士山城	治山施設再設置	林野庁	平成 30 年度	令和3年度終了予定
〃	砂防堰堤等設置	国土交通省	平成 30 年度	令和4年度終了予定
〃	落石防護施設改修	静岡県	令和元年度	令和元年度終了
〃	山小屋の建替え	見晴館	令和元年度	令和3年度終了予定
〃	富士山五合目園地整備(展望築山の造成等)(参考資料2 P37 参照)	山梨県	平成 30 年度	平成 31 年度終了
〃	御中道標識整備	環境省	平成 29 年度	令和2年度終了予定
〃	富士スバルライン二合目土留めブロック積擁壁改修工事	山梨県道路公社	平成 29 年度	令和元年度終了
〃	導流堤新設及び倒壊した砂防堰堤の撤去、新設	山梨県	平成 27 年度	令和4年度終了予定
富士山本宮浅間大社	祈祷殿の屋根増設と塗直し(参考資料2 P38 参照)	富士山本宮浅間大社	令和元年度	令和2年度終了予定
山宮浅間神社	参道舗装及び灯籠設置(参考資料2 P39 参照)	山宮浅間神社	令和元年度	令和2年度終了予定
白糸ノ滝	売店集約化に伴う用地造成・売店建設(参考資料2 P40 参照)	富士宮市等	平成 30 年度	令和2年度終了予定

※令和元年度に文化財保護法に基づく現状変更許可を受けた事業または令和元年度以前に許可を受け、令和元年度に継続中の事業から抽出。

(2) 緩衝地帯における開発状況

付近の構成資産名	事業概要	法的規制の状況	事業主体	開始年度
忍野八海 山中湖	工場の建設 場所 山中湖村	「山梨県世界遺産富士山の保全に係る景観配慮の手続に関する条例」を遵守している。	民間事業者	平成 30 年度
三保松原	研究施設の建設	「名勝三保松原保存管理計画」における第 3 種規制地区	東海大学	平成 31 年度
富士山城等	送電設備建替工事 場所 富士山南麓(富士宮市等)	・関係市町の景観条例に基づき協議・届出・適合通知(工事着手許可)を受領済 ・第 13 回富士山世界文化遺産学術委員会(令和2年2月)にて世界遺産としての価値に負の影響は確認又は予見されていないことが承認。 ⇒その後、第 13 回富士山世界文化遺産協議会(令和2年8月書面決議)で同内容が承認。現時点において計画の変更は生じていない。	民間事業者	—

※山梨県は、「山梨県世界遺産富士山の保全に係る景観配慮の手続に関する条例」第 19 条第 1 項の規定による対象事業完了届書の届出があった事業、静岡県は、「景観条例」及び「景観計画」に基づき届出があった事業を掲載。

参考資料1 定点観測地点からの展望景観の変化

定点観測撮影地点

